
北海道浮魚ニュース

平成 18(2006)年度 7 号(通巻 No.220)

2006 年 7 月 10 日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

道東太平洋マサバ・マイワシ漁期前調査結果

北辰丸(釧路水産試験場調査船)によって行われたマサバ・マイワシ漁期前調査の結果をお知らせします。

調査期間 : 2006 年 6 月 27 日 ~ 7 月 5 日

調査海域および調査点 : 道東 ~ 三陸沖太平洋(北緯 38 度 30 分 ~ 42 度 00 分、東経 143 度 25 分 ~ 146 度 50 分)における 8 調査点(図 1、表 1)

調査方法 : 9 種類の目合(22,25,29,37,48,55,63,72,82mm)の流し網を用いた漁獲試験

漁獲試験を行った 8 調査点の表面水温は 10.8 ~ 21.5 (昨年 : 13.0 ~ 20.0)、50m 層は 1.6 ~ 14.1 (昨年 : 2.0 ~ 15.3)、100m 層水温は 1.4 ~ 10.2 (昨年 : 1.4 ~ 11.9)でした(表 1)。

漁獲試験の結果は表 1 のとおりで、流し網調査 1 回当たりの漁獲尾数(CPUE)の経年変化は図 2 のとおりです。

漁獲試験で採集された漁獲物は以下のとおりです。

サバ類(マサバ、ゴマサバ)は、4 調査点で 18 ~ 370 尾、合計 982 尾漁獲されました。CPUE は 122.8 尾/回で前年の 42.0 尾/回を上回り、近年の中では最も高い値を示しましたが、資源水準は依然低い状態にあるものと思われます。魚体は体長 26 ~ 38cm 台で、31 cm 台が主体でした。

マイワシは、1 調査点で 1 尾漁獲されました。CPUE は 0.1 尾/回で前年の 0.0 尾/回を上回りましたが、資源水準は非常に低い状態です。魚体は体長 15.5 cm 台でした。

カタクチイワシは、8 調査点(全地点)で 1 ~ 3,729 尾、合計 7,183 尾漁獲されました。CPUE は 897.9 尾/回で、前年の 697.3 尾/回を上回りましたが、近年の中では低い値でした。魚体は体長 11.0 ~ 14.0cm 台で、12.5 cm 台が主体でした。

サンマは、7 調査点で 1 ~ 972 尾、合計 1,360 尾漁獲されました。CPUE は 170.0 尾/回で、前年の 198.1 尾/回を下回りましたが、近年の中では 2 番目に高い値でした。

スルメイカは、3 調査点で 2 ~ 8 尾、合計 12 尾漁獲されました。CPUE は 1.6 尾/回で、前年の 1.4 尾/回を上回りましたが、近年の中では低い値でした。

アカイカは、4 調査点で 390 尾漁獲されました。CPUE は 48.8 尾/回で、前年の 1.1 尾/回を上回り、近年の中では 2 番目に高い値でした。

来る 7 月 24 ~ 26 日に、中央水産研究所資源評価部(横浜市)で長期漁海況予報会議が開催され、今回の調査結果を含めた各機関の資料を基に、漁況予報が発表される予定です。

(文責 : 釧路水試 資源管理部、直通電話 : 0154-23-6222、FAX : 0154-23-6225)

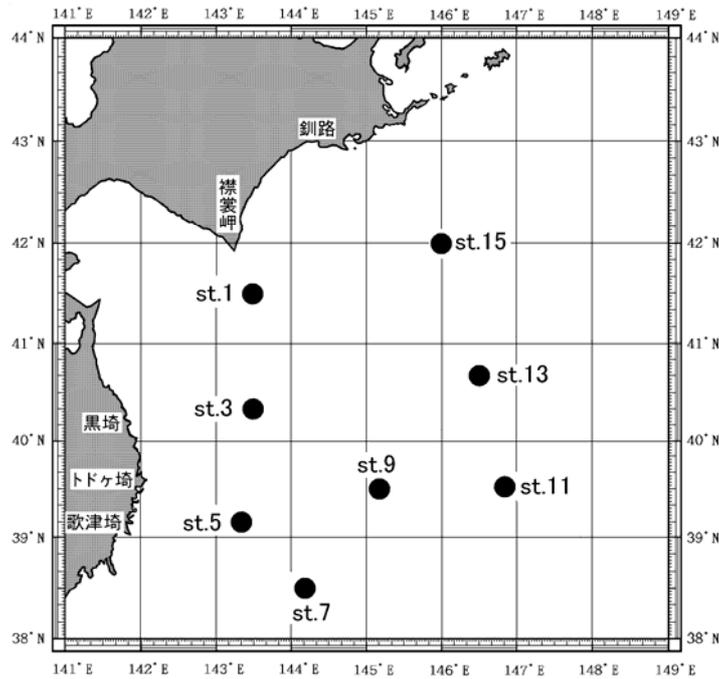


図1 漁獲試験調査点

表1 水温および魚種別採集尾数

ST.	1	3	5	7	9	11	13	15	合計
表面水温	10.8	14.8	18.6	21.5	19.4	20.1	15.6	13.8	
50m水温	1.6	7.8	11.0	14.1	12.3	12.5	2.3	4.1	
100m水温	1.4	3.8	8.2	8.9	10.2	9.6	2.2	3.8	
サバ類			313		281		370	18	982
マイワシ	1								1
カタクチイワシ	1,952	143	1,318	3,729	33	1	5	2	7,183
サンマ		76	972	1	23	100	51	137	1,360
スルメイカ		8	3					2	13
アカイカ			1	81	31	277			390

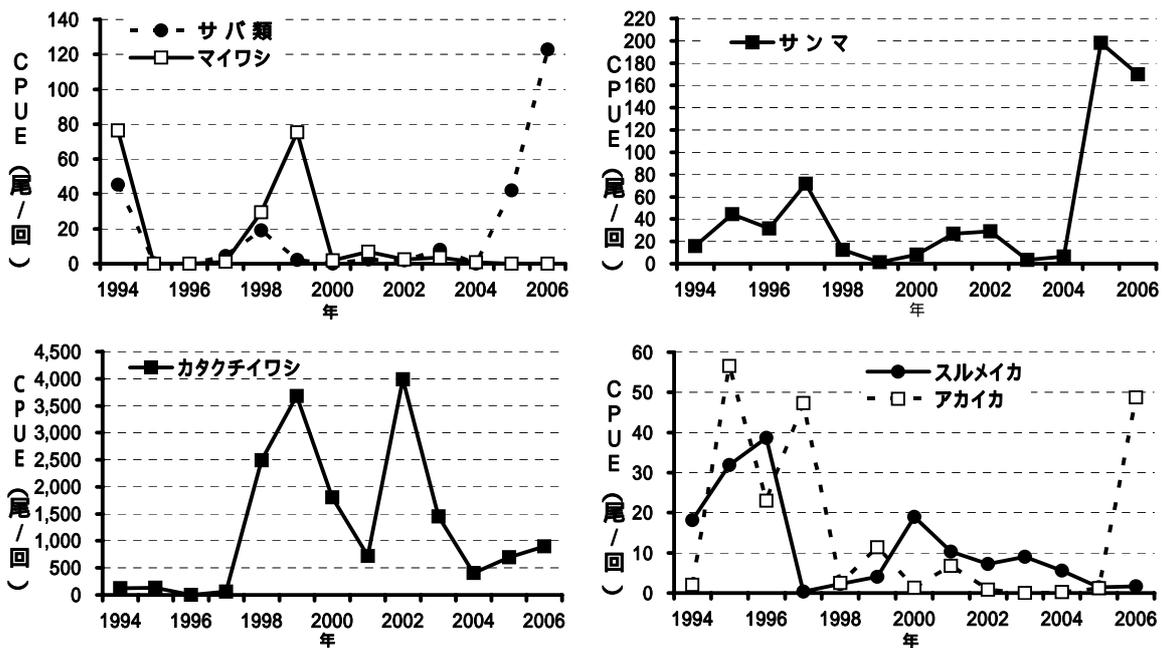


図2 流し網調査1回当たり漁獲尾数(CPUE)の経年変化